



# ならし社協だより

第31号

JANUARY 2017

平成29年1月1日発行



## 新年のごあいさつ

社会福祉法人奈良市社会福祉協議会

会長 福井 重忠

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、すがすがしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本会の活動に深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年は、社会福祉法人制度改革の本格施行を迎える中、新しい地域福祉活動計画に基づく事業を通じ、これまで以上に地域社会への貢献を果たしてまいり所存であります。

本年も変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

冬の浮見堂 (写真提供：奈良市観光協会)

### 目次 (ページ)

- 02 第2次地域福祉活動計画を策定中!
- 04 あなたのまちの地域福祉活動「西大寺北地区社会福祉協議会」
- 05 ちょっと知りたい 地区の地域福祉活動計画ってどんなもの?  
奈良市善意銀行って何?
- 06 社協の相談窓口について
- 07 障がい者スポーツの魅力!
- 08 穴埋めキーワードクイズ

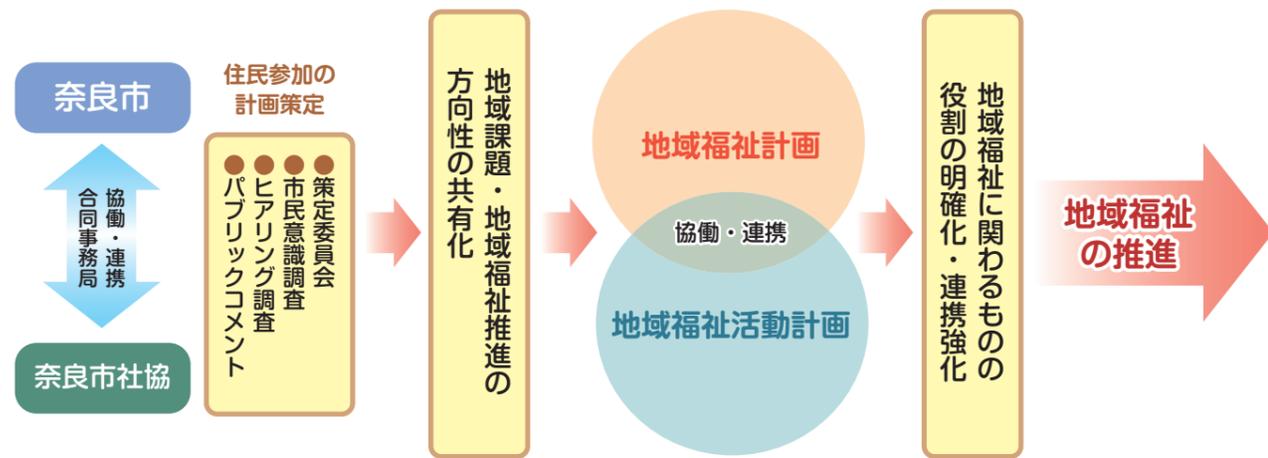
**社協会員募集中!**  
(※詳細は8頁参照)

# 第2次奈良市地域福祉活動計画の策定を進めています！

現在、奈良市が策定を進める第3次地域福祉計画は、「奈良市総合計画」を上位計画とし、社会福祉法の規定に基づき、市民一人ひとり、住民組織、様々な関係団体の参加を得て地域住民の生活上の解決すべき課題と現状を明らかにし、それに対応するサービスを提供し提供する体制を計画的に整備することを内容とする行政計画です。

一方、本会が策定を進める第2次地域福祉活動計画は、地域住民や民間団体の自主・自発的な福祉活動計画や意見を根底に策定された民間の「行動・活動」計画であり、住民参加を前提とした実践計画となっています。

両計画は、目指す方向性を同じくしており、これまでも整合性を持って策定されてきましたが、今回は両計画の策定作業を一体的に進めており、その結果、地域福祉に関わるものの役割をより明確にし、連携を強化し、効果的に地域福祉を推進できる体制づくりを進めることができます。



## ヒアリング調査から見てきたもの

既存の制度による支援や地域の助け合いから抜け漏れることにより、社会的孤立状況にある方、またはその可能性のある方の生活問題（福祉ニーズ）を明らかにするために、高齢・障がい・ひきこもり等の当事者団体や支援団体、行政関係機関の計83か所にヒアリング調査※を実施しました。

(※ヒアリングの一部は、平成26年度の安心生活創造推進事業における「抜け漏れのない実態把握事業」の一環として実施済み)

### 地域の福祉意識を高めないと...

- ・障がいのある人の地域生活に対する理解が進まない状況を変えたい
- ・自分から支援を頼めず、SOSが発信できない人への周囲の理解を深めたい

### 担い手が活動しやすい仕組みがないと...

- ・民生委員や自治会などの地域活動者と専門職との情報共有・連携や役割分担を何とかしたい
- ・日常生活のちょっとした困りごとを助け合える担い手を増やしたい

### 困りごとを受け止める体制が整っていないと...

- ・どこに相談したらいいかわからないため見過ごされ、地域の見守りや気づきが支援につながっていない
- ・身近な場所での相談支援や外出できない人へのアウトリーチ（出向くこと）がかかせないこともある

### 専門・相談機関のネットワークが不十分...

- ・対応が困難な事例等に関しては、行政庁内の分野を越えたヨコの連携が必要不可欠
- ・ひきこもり支援にかかわる人材や組織の連携を進めたい

### 地域で住み続けるために必要なサービスや活動が足りない...

- ・一人暮らしの男性や認知症の高齢者、孤立する介護者等が参加できる場所をつくりたい
- ・通院や買い物、地域行事への参加等、外出のための移動手段が確保できない
- ・公共施設や空き家などの社会資源の有効活用や社会福祉法人等の地域貢献を期待している

## 第2次地域福祉活動計画の基本目標ならびに重点項目について

両計画の策定においては、市民関係団体や保健・医療・福祉関係団体を代表する者、また行政関係者や学識経験者などで構成されている「地域福祉推進会議」（策定委員会）において議論を進めています。ヒアリング等の結果をもとに、まずは市民一人ひとり、住民組織、様々な関係団体などの地域福祉に関わる人たちが共通して目指すべき基本目標について検討がなされています。

第2次地域福祉活動計画の基本目標と重点的な取組み			
基本理念	基本目標	活動の方向	重点的な取組み
安心と健康のまじり合い、ともに生きる	1. 「ひと」づくり ～地域福祉を推進する主体性づくり～	(1) 地域福祉への関心と理解を広げる取り組みを通じた担い手づくり (2) 地域福祉の活動支援	・広報活動の充実 ・福祉教育の推進 ・新しい地域活動者の発掘
	2. 「ネットワーク」づくり ～課題を深刻化させない連携づくり～	(3) 困りごとを受け止める体制づくり (4) 課題を深刻化させない仕組みづくり	・地区別福祉活動計画づくりの推進 ・テーマに応じたボランティア等の組織化 ・地域福祉活動の財源づくり ・エリア支援体制の充実 ・総合相談体制の構築 ・災害支援体制の構築
	3. 「こと」づくり、「場」づくり ～くらしを支えあう活動・サービスづくり～	(5) 地域生活を実現するための資源やサービス・活動の展開	・つながり/見守り/支え合い活動の推進 ・多様な協働による居場所づくり ・社会福祉法人との協働による資源開発

※上記の表は、「第3回地域福祉推進会議」（10/27開催）の資料をもとに作成した、平成28年11月現在の内容です。

## 『福祉でまちづくり作戦会議』を開催しました！

両計画の策定に向けて、「地域づくり」をキーワードとして、取り組むべきテーマごとに幅広い関係者の自主的な参加を得て、分野を超えた協議の場とするために企画しました。

当日は、各テーマに応じてゲストスピーカーによる話題提供の後、全員で昼食を取りながらグループトーク、フリートークを行いました。熱い思いを持った方々の新しい出会い、新しいコラボレーションを創出する場となりました。

### 第1回 11月4日(金) 10:30~14:30 テーマ 「出番と役割（はたらく）」を応援・創出するWIN・WINの地域づくりを考えよう！

- 話題提供
- ①ひきこもり「はたらく」応援…鳥見地区の奥村さん、鳥見小学校の今西先生
  - ②地域住民の「はたらく」応援…大宮地区社協の吉岡会長、猪坂事務局長
  - ③障がい者の「はたらく」応援…西岸寺の京田住職、青葉仁会の山出就労支援部長

### 第2回 12月16日(金) 10:30~14:30 テーマ 現代版「隣組」づくり！ちょっとした困りごとを支えるのは誰？

- 話題提供
- ①地域生活×障がい者施設…六条地区社協の待夜会長、たんぼぼの家の成田施設長
  - ②地域生活×有償福祉サービス…コープたすけあいの会の前川さん、帝塚山南ゆかり会の磯野さん
  - ③地域生活×買い物支援…つるまい団地見守りネットワーク会の小山さん、田原やま里市場の窪田さん



会場には、近鉄奈良駅近くの「漢國神社」をお借りして開催。第1回は地区社協、民生委員、福祉施設・事業所、ボランティア・NPO、見守り協定事業者、まちづくり関係者など総勢61名が参加。

第1回は、高齢者、障がい者、ひきこもりの人等が、福祉サービスの受け手という存在だけでなく、地域社会とつながりを持ちながら地域で活躍する姿を思い描き、どういった「出番と役割」を創り出すことができるのかを参加者同士で語り合いました。

本会では、策定委員会の下に、本会職員で構成した「計画策定ワーキンググループ」を設置し、計画策定作業の円滑な推進を図っています。今後、基本目標に沿った実施計画づくりを進めていく上では、そのプロセスからより多くの関係者に関わっていただくことが重要だと考えています。

計画を「絵に描いた餅」にさせないよう、着実に推進できる計画づくりに取り組んで参ります。

### 計画策定についての質問・問い合わせ窓口

奈良市社会福祉協議会 総務課

TEL: 0742-93-3100 FAX: 0742-61-0330 E-mail: hureai@narashi-shakyo.com

# あなたのまちの地域福祉活動

## 西大寺北地区社会福祉協議会

西大寺北地区は、近鉄大和西大寺駅の北側に位置する地域で、集合住宅の建設が急速に進み、都市近郊のベッドタウンとして人口が増えていきました。開発が進む一方、世帯構成の変化や人間関係の希薄化などによって、孤独や不安を抱えて暮らす人が増えてきており、地区ではそんな状況を解決しようとする住民活動が生まれています。今回は、その活動を支える西大寺北地区社会福祉協議会（以下地区社協）の中谷会長とボランティアグループの代表者の方々から活動に寄せる思いをお聞きました。



## 深まる交流と増えるつながり

西大寺北地区では「すこやか会※①」をはじめ、「西北歌の会※②」、「高齢者の集い※③」といった活動が行われています。「新しい友人ができた」「老人会への参加のきっかけになった」といった参加者の声や、最初は乗り気でなかった男性が、「サロン活動を手伝ってほしい」と誘い文句の工夫をすることで活動に参加してくれるようになったり、道でうすくまり体調不良を訴えていた人が、サロンを通じてつながりがあったことで、早急な対応ができて事なきを得たなど、活動を通じて新しい地域のつながりが生まれています。



▲今年で20年を迎える「すこやか会」集いグループの様子

活動を行う上で大切なのは、活動者がすべてをするのではなく、参加者と一緒に行っていくことであり、参加者にも運営の準備を手伝ってもらうことで、地域住民相互の交流が深まるとともに、活動が活性化しています。

- ①「すこやか会」・・・3つのグループで活動を展開。
  - ・サロン活動をする集いグループ（月1回）
  - ・サロンに参加できない方の家に伺う訪問グループ（月2回）
  - ・物作りを行う手作りグループ（月2回）
- ②「西北歌の会」・・・高齢者だけでなく歌好きの方なら広く参加できる歌の集い。（月1回）
- ③「高齢者の集い」・・・毎月の給食見守り活動をきっかけに誕生した年に1度の会食会。

## 地区社協の役割とこれからの地域づくり

住民へ活動の周知を行ったり、ボランティアグループの活動を財源面で支えているのが地区社協です。地区社協では、災害時の避難行動等において支援が必要な方への対応といった今日的な課題に対し、地域の中でそういった方々ともつながりができるサロン活動の大切さを感じています。また、サロン活動などを発展させていくために空き家の利活用などにも目を向けていますが、そのためには自治会を含むさまざまな組織との連携が必要となっており、地区内の各種団体が協働するこれからのまちづくりの「場」として、地域自治協議会づくりに期待が寄せられています。



▲左から、中谷 茂会長、亀田 玲子代表（高齢者の集い）、福田 美智子代表（すこやか会）、杉澤 千鶴子代表（西北歌の会）

ボランティアグループの活動の発端は、みんなが元気で安心して生活できる地域をつくりたいという思いです。地区社協にもその思いは共有されており、ボランティア活動の支援などを通して、「地域で生活する皆が幸せと思えるようなまちづくりを目指していきたい」と中谷会長は熱く話してくださいました。

# ちょっと知りたい 地区の地域福祉活動計画ってどんなもの？

現在、奈良市では第3次地域福祉計画と第2次地域福祉活動計画の策定が進められています（2、3ページ参照）が、概ね小学校区域を単位とする地区社会福祉協議会においても、地区の地域福祉活動計画（以下、計画）が作られています。

## 計画ってどんなもの？

「自分の住むまちをどのようなまちにしたいか」その目標を示すとともに、目標達成に向け、今後取り組むべき事柄（いつ、誰が、何を、どうする）をまとめたものです。

## どれくらいの地区が計画を作っているの？

奈良市内46地区の内、19地区で策定されており、現在3地区で策定に取り組んでいます。

## 計画を作ると何かいいことがあるの？

- ➡ 計画があることで、地区で活動をしている人もそうでない人も含め、**地区全体でまちづくりのビジョンが共有でき、目標の達成に向け、着実に活動を進めることができます。**
- ➡ 計画に目標が示されることで、地区の各種団体が目標に合わせて活動を進めやすくなるとともに、**目的を同じくする活動は協力しながら進めることができ、地区全体でより効率的な活動が可能になります。**
- ➡ 計画によりこれからの方向性が示されていることで、「〇〇さんがいないと活動が進まない」というような、特定の人に負担がかかりがちな状況が緩和され、**活動の継続性が担保**されます。
- ➡ また、計画策定の過程において、住民同士が協議の場を持つことは、関係性の深まりや、**課題解決のための土壌を育む**ことに繋がります。

## どうやって作るの？ 課題は？

➡ その多くは、地区住民が協議をしながら作っており、市社協の地区担当職員も協力しています。**地区の特長や課題などを話し合い、皆で共有しながら目標やこれからの方向性が決められます。**

一方で、地区の福祉活動には暮らしの課題にスピーディーに対応する即応性が求められており、計画の策定に過度の負担がかからないよう、より取り組みやすい計画づくりを進める必要があります。



問い合わせ 奈良市社会福祉協議会 地域支援課 0742-93-3294 まで

# ちょっと知りたい 奈良市善意銀行って何？



## 「役に立ちたい」の気持ちを形に・・・

「地域や社会のために少しでも役に立ちたい」とか、「地域の福祉施設等に金銭や物品を寄付したいが、どうしたら良いかわからない」という人も多いのではないのでしょうか？『奈良市善意銀行』はこうした皆さまからの温かい善意の気持ちを金銭や物品でご提供いただき、その善意を様々な地域福祉の推進に活用する窓口となっており、奈良市社協では、皆様の善意をより効果的に役立てるよう努めています。

## ▶ 善意銀行のあゆみ

1962年に徳島県や大分県の社会福祉協議会で発案されたもので、社会福祉のための労力や金銭を預託し、これらを必要とする方へ支給や派遣をするという形で始められました。当初奈良市では、金銭や物品の預託だけでなく、労力や技術の預託、血液の提供を求めることもあったようですが、ボランティア活動の活性化や日本赤十字社等の献血が普及する等、現在は金銭と物品の寄付のみが残っています。

## ▶ どんな預託があるの？

**金銭預託**

善意の寄付、福祉バザーの売上等金銭による寄付のことで一般寄付と指定寄付があります。

※金銭の寄付については所得税法上の寄付控除が受けられます。

---

**物品預託**

車椅子等の福祉用具、リハビリパンツ、絵本、おもちゃ等物品による寄付のことで、これらが必要とする福祉施設等で活用されます。

※原則新品か未使用品として預託します。また、物品の内容によっては、預託をお断りする場合があります。

## ▶ 寄付の種類と使途

<p><b>一般寄付</b></p> <p>地域の高齢者の見守り活動など、使途を定めず、地域福祉全般に活用される寄付のこと</p>	<p><b>地域福祉推進にかかる主な使途</b></p> <p>◇小地域福祉活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内46地区にある地区社協活動への助成</li> <li>・一人暮らしの高齢者等への配食や会食会等への助成</li> </ul> <p>◇地域支援拠点の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ニーズに即した住民参加型拠点である「鳥見ふらっと」の機能充実に係る経費</li> </ul>
<p><b>指定寄付</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付者が目的を定めて、具体的に指定された奈良市内の民間福祉施設や団体等に活用</li> </ul>

問い合わせ 奈良市社会福祉協議会 総務課 0742-93-3100 まで

# ◆ 社会福祉協議会の相談窓口 ◆

社会福祉協議会では下記の相談窓口を設置しています。  
「どこに聞けばよいかわからないこと」は、お近くの窓口にお問い合わせください。社協職員と一緒に考えます。

実施場所	内容	実施日	時間	申し込み	連絡先
社会福祉協議会事務局 (杏町79-4)	福祉に関するなんでも相談窓口	月～金曜日	8時30分～17時15分	不要	☎ 0742-93-3100 FAX 0742-61-0330
福祉サービス支援室 (市役所中央棟2階)		月～金曜日	8時30分～17時15分	不要	☎ 0742-30-2525 FAX 0742-30-2323
鳥見「ふらっと」 (三碓町2204)		月～土曜日	8時30分～17時15分	不要	☎ 0742-93-3741 FAX 0742-93-3740
都祁福祉センター (蘭生町1922番地8)		火～土曜日	8時30分～17時15分	不要	☎ 0743-82-2624 FAX 0743-82-2625
月ヶ瀬福祉センター (月ヶ瀬尾山1124番地)		火～土曜日	8時30分～17時15分	不要	☎ 0743-92-0204 FAX 0743-92-0967
総合福祉センター (左京5-3-1)		火～日曜日	開館時間内	不要	☎ 0742-71-0770 FAX 0742-71-0773
ボランティアセンター (法連町1702-1)	ボランティアの紹介や活動に関する相談	月～土曜日	9時～17時	不要	☎ 0742-26-2270 FAX 0742-26-2003
福祉サービス支援室 (市役所中央棟2階)	生活福祉資金・福祉つなぎ資金に関する相談 地域福祉権利擁護事業に関する相談	月～金曜日	8時30分～17時15分	なるべく事前連絡	☎ 0742-30-2525 FAX 0742-30-2323
東福祉センター (法連町1702-1)	①高齢者の健康相談及び身上相談	火～土曜日	①8時30分～17時15分	不要	☎ 0742-24-3151 FAX 0742-27-9028
西福祉センター (百楽園1-9-13)					☎ 0742-62-3730 FAX 0742-62-3780
南福祉センター (南永井町45-1)					☎ 0742-41-3151 FAX 0742-41-3150
北福祉センター (右京1-1-4)					☎ 0742-71-3501 FAX 0742-71-3548
総合福祉センター (左京5-3-1)	①言語よろず相談(言葉・口 周辺) ②手話通訳による相談	火～日曜日	開館時間内	①予約制 ②不要	☎ 0742-71-0770 FAX 0742-71-0773

## ◆ こんなご相談がありました ①



子育てスポットを利用中のAさん。  
周りのお母さんたちと育児の話をして情報交換など  
をしています。Aさんには他にも気になることが。  
近所に住む義理のお母さんが少しずつ体が不自由な  
なって、家事もままならないと話していたのです。  
気になるものの、子どもが小さくて毎日のはぞきに  
いけません。そんな話を聞いた福祉センターの職員は、  
担当の地域包括支援センターにつなぐことを提案  
しました。地域包括支援センターの方は義理のお母  
さんを訪問してくれ、介護保険サービスや、地域  
での集まりなどについて説明してくれました。  
お母さんにも身近な相談場所ができて安心だそう  
です。

## ◆ こんなご相談がありました ②



「社会福祉協議会でお金を借りられるんですね。」  
と窓口に来られたBさん。  
聞くと「お金がないと、これから生活できない」と  
のこと。体調不良で収入が減って、生活費が足りな  
くなったようです。  
今まではサラ金でなんとか食いつないでいたもの  
の、首が回らなくなってどうにかしてお金を工面す  
ることを考えておられた様子。  
貸付要件に該当せず貸付はお断りしましたが、こ  
れからの生活の立て直しのためにも法律相談をご紹  
介し、債務整理を行うこととなりました。  
Bさんは、「一人で悩んでいては、もっと生活が苦  
しくなるところでした。」とまずは病気の治療に専  
念できることとなりました。



# 障がい者スポーツの魅力!

～車いすツインバスケットボールの現場から～

「障がい者スポーツ」には数多くの種目があり、パラリンピックなど世界を舞台にするものから、地域で多くの人に親しまれているものまで様々です。スポーツを楽しむことによってQOL(生活の質)向上につながっていることも多いのが特徴的です。そんな障がい者スポーツの現場から、総合福祉センター体育館を拠点に活動している車いすツインバスケットボール(以下、車いすツインバスケ)のクラブ「プロス」の活動を通じて障がい者スポーツの魅力をお届けします!

## 「プロス」代表 江田さんに聞きました★

■「ずっと続けられること」が「居場所」に  
車いすツインバスケは正規の高いゴールと低いローゴールの二つがあることから、障がい者の中でも軽度の方から重度の方まで身体が動く限りはずっと続けられます。また、健常者も一緒になってふれあいながら楽しめることが何よりの魅力だと思います。つまり「ずっと続けられること」で、障がいの有無を問わず仲間とのつながりが強くなって「居場所」になり、例えば、病気で活動が途切れてしまっても「戻ってこられる場」になっています。そのようなことから生涯スポーツとしての意味合いもあると考えています。



■健常者からのサポート・協力、そして一緒に楽しむ  
プロスでは学校からの講演依頼をきっかけに教育現場との接点ができ、そこから学生やボランティアとのつながりが生まれました。現在は主にヘルパーや看護学生などからのサポート・協力を得て、ヘルパーも単に「サービス提供」のみならず「楽しみを共有してくれる人」という存在になっています。車いすツインバスケは健常者のサポート・協力がなくてはできませんが、それ以上に、一緒に楽しめるということを大切にしています。



■スポーツ環境の実現が、生活の質にも好影響  
スポーツについてはいくつかのポイントがあると思っています。「場所(施設・設備)」、「道具(車いす、ローゴールなど)」、「指導者」というスポーツ環境が整備されていることで、より身近でふれあい、続けることができます。それが「楽しさ」や「仲間たちとの交流」と結びつくことによって、生活の上での張りやモチベーション向上につながっています。

本会では総合福祉センター体育館を中心に、障がい者のスポーツ参加のきっかけづくりを行っています。そのためには場所(施設・設備)の提供だけでなく、指導者などスタッフ体制を充実させ、プロスのようなクラブ活動の育成支援が必要となります。また、障がいの有無にかかわらず誰でも楽しめる「ユニバーサルスポーツ」の環境整備を行うことによって、より幅広い人々にスポーツを楽しんでいただけます。皆さんも一緒に障がい者スポーツに関わってみませんか?

障がい者スポーツ等についてのお問い合わせは  
総合福祉センター体育館  
Tel: 0742-71-0775

旗・応援幕・カップ・バッジ  
株式会社 **野崎旗店**  
TEL.0742-23-1343 FAX.0742-27-3760  
E-mail: hata@nozaki.net  
**HP 野崎旗 で検索!**

**相続対策・生前贈与**  
確定申告・相続税・資金調達・登記  
保険代理業務・金利過払いのご相談など  
奈良の地で開業80年の実績。皆様さまざまな疑問・ご要望に「総合力」で誠実にお応えいたします。  
TEL 0742-22-3578 FAX 0742-27-1681  
税理士法人 森田会計事務所  
MORITA 森田 功 司法書士事務所

あなたが抱えている疑問や悩みを **窓口一つ** で解決  
**相続にお困りの方**  
初回無料相談実施中  
**0120-01-9674**  
奈良市西大寺栄町 3-23 サンローゼビル  
税理士事務所 SBL内 近鉄西大寺駅徒歩3分  
**SBL相続プラザ**

○ 養護老人ホーム ○ 特別養護老人ホーム  
○ ケアハウス ○ デイサービスセンター  
昭和7年(1932年)創設以来84年間  
「和顔愛語」の福祉の心で運営  
**社会福祉法人 奈良市和楽園**  
〒630-8424 奈良市古市町1 886番地の1  
TEL(0742)63-5500 代 FAX(0742)63-6051  
職員募集中  
<http://www.warakuen.or.jp>  
奈良市和楽園

グループホーム **「古都の家学園前」**  
パートスタッフ 募集中  
～認知症になってもできることは沢山あります。まだまだ一緒に人生を楽しみましょう～  
〒631-0073 奈良市二名東町 3750-2 (市立二名小学校グランド隣り)  
TEL: 0742-40-1315  
E-mail: gh-kotonio@shore.ocn.ne.jp

医療・介護をトータルサポート!  
**らくじ会グループ**  
0742-30-1800  
京終・八条・法連・西大寺・学園前  
奈良市 東部・西部 区くじかい 検索  
見学・体験、いつでも受付中です!  
是非お気軽にご相談ください!

AIUの生活サポート総合補償制度  
・日本初の知的障害児者・自閉症児者専用保険です。  
・病気やケガで入院した際の・・・  
付添介護費用・差額ベッド費用・入院雑費用・入院一時金付等  
・他人への損害賠償、本人のケガの補償もセットされています。  
<お問合せ先>  
ジェイアイシーウエスト株式会社  
大阪府中央区南本町11-2-11-401  
tel: 06-6941-5187

お弁当・会席・ケータリング **はないちぽん**  
古都の想いを  
お届けします。  
(株)味の和路 **0120-871-309**  
奈良県大和郡山田池沢町230 <http://www.hana1.co.jp>

福祉車両のレンタカー  
お気軽にご用命ください  
ハイエース 2台  
ノア 1台  
ワゴンR 1台  
http://www.29mirai.com  
総局 **ガラジュモリ**  
奈良市北之庄西町1丁目11-3 TEL: 0742-61-5662(すずき)

【診療科目】  
内科 消化器内科 循環器内科 血液内科 腎臓内科  
呼吸器内科 泌尿器内科 皮膚科 心療内科 呼吸器内科  
外科 消化器外科 泌尿器外科 整形外科 整形外科  
リウマチ科 リハビリテーション科 放射線科 泌尿器科  
血液浄化(人工透析) 健康増進(人間ドック・企業検診) 緩和ケア  
救急告示病院  
社会福祉法人 松本快生会  
**西奈良中央病院**  
0742-43-3333 ◎ 学園前駅より徒歩約10分 西奈良中央病院 検索

立ちどまらない保険。  
**MS&AD**  
INSURANCE GROUP  
**MS奈良株式会社**  
三井住友海上新特約ランク代理店  
TEL: 0742-35-6090  
〒630-8115 奈良市大宮町 3-4-29 大宮西ビル6F

**極楽湯**  
奈良店 奈良市大安寺町510 0742-32-1126  
平日 / 7:00 ~ 25:00  
土・日・祝 / 6:00 ~ 25:00  
(最終受付 24:20)  
●年中無休 ※但し、年に数回設備メンテナ  
ンスの為休業致します  
**入浴優待券 土日祝も使えてお得!**  
大人 **500円** 小人 **100円**  
◎お風呂で大きいお風呂、お風呂の設備が充実しています。お風呂の設備が充実しています。お風呂の設備が充実しています。

## 広告募集中!!

地域福祉活動の情報紙「ならし社協だより」に広告を掲載していただける企業や事業所を募集しています。

多くの方に読まれていますので、PRにご活用ください!

※年4回発行。各18枠。1枠=6,000円です。

お問い合わせは、奈良市社会福祉協議会  
総務課まで TEL: 0742-93-3100

## 社協会員募集

「困っている人の助けになりたい」  
「地域に何か役立つことをしたい」

社協会員への加入は、そんな奈良市民の皆様の思いを活動資金の協力というカタチで実現して頂くための仕組みです。

この会費は、各地区で取り組まれている地域福祉活動等を支える財源として活用しています。社協会員になって、地域福祉活動を支えて頂ける方を募集しています。ご協力よろしくお願いたします。

- |            |      |         |
|------------|------|---------|
| ①個人会員      | 年間1口 | 1,000円  |
| ②施設・団体会員   | 年間1口 | 5,000円  |
| ③賛助会員(企業等) | 年間1口 | 10,000円 |

問い合わせ先 総務課 0742-93-3100



ヒントをもとに、空いているマスにひらがなを入れてください。太枠の文字を上から順につなげてできる言葉が答えです。答えは、どこかのページにあるよ! 探してみてね♪

答え

ヒント1 「地域づくり」をキーワードに、テーマごとに「福祉でまちづくり」  
□□□□ 会議を開催中!

ヒント2 障がいの有無にかかわらず楽しめる □□□□□□ ス  
ポーツの環境整備を行うことが大切

ヒント3 第2次地域福祉活動計画では、困りごとを受け止める体制づくりとして、□□□□ 支援体制の充実を検討中。

ヒント4 西大寺北地区では、地域で生活する皆が □□□□□□ と  
えるようなまちづくりを目指していきたい

ヒント5 □□□□□□ 銀行は、市民の皆さまの善意を様々な地域福祉の  
推進に活用する窓口となっています。

### 賞品

“普段使い”にこそ良品を!  
「みどりふきん」(5名様)

- 商品…丈夫で長持ち! 素材はレーヨン100%。  
化学薬品は一切使用していません。
- 提供者…生活介護みどりの家(奈良市左京5-3-1 TEL 0742-71-0771)

### 応募方法

「クイズの答え」「記事内容の感想・ご意見」「氏名」「住所」「連絡先」を書いてハガキ、FAX、メールのいずれかで下記へ。クイズ正解者の中から抽選で賞品をプレゼントします。

### 応募締切

平成29年3月1日(水)



### 編集後記

「笑顔の接客しかできないのは二流」という言葉があります。福祉の現場では、楽しい気持ちの方だけでなく、憂鬱で心が晴れないという方もおられます。今年もそんな方の心情を汲み取ってその気持ちに寄り添える支援が出来ればと思います。(編集委員O)

発行: 社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会  
発行責任者: 事務局長 福尾 和子  
奈良市杏町79番地の4  
TEL: 0742-93-3100 FAX: 0742-61-0330  
E-mail: hureai@narashi-shakyo.com  
URL: http://www.narashi-shakyo.com



奈良市社協 検索

## ご高齢の方や、障害をお持ちの方で歩行困難などで治療院に通いづらい方

訪問鍼灸マッサージ ~今お持ちの健康保険証が使える~ 鍼灸・マッサージ

# ゆうとぴあ® ご自宅まで訪問いたします!

### 利用者さまのお声

脳疾患の後遺症があるのですが、病状もよくなってくれる先生で、話もよく聞いてもらっています。

ぐっすり眠れるようになりました。

わたしは、保険負担1割なので1回340円~580円程度です。負担が少なくて、しかも家まで来てくれてありがたいです。

夜中のトイレの介助がなくなり負担が減りました。

糖尿病で人工透析を受けていますが、訪問マッサージは便利です。透析のスケジュールに合わせてもらいながら、毎週3回お願いしています。



無料お試しマッサージのお申込みは  
0120-0120 0120-977-207

訪問時間 朝9時~夕方6時 休診日 土曜日午後・日曜日・お盆・年末年始

ゆうとぴあグループでは1年間延べ2万人の施術実績

安心と安全と信頼の実績



訪問鍼灸マッサージ

株式会社 日本在宅サービス

訪問鍼灸マッサージ ゆうとぴあ

〒631-0041 奈良県奈良市学園大和町2丁目84 TEL/0742-81-3132 FAX/0742-81-3112 HP http://www.nihonzaitaku.com/